



学校だより

横浜市立桂台小学校
学校長 渡邊 勉
横浜市栄区桂台南1-1-1
TEL 891-8000

令和4年度 7月号

「心つながる かつらっこに」

校長 渡邊 勉

早いもので、4月の始業式から3か月が経ち、夏休みまであと3週間余りとなりました。2年生や4組の子どもたちが育てているミニトマトやナス、ピーマン、エダマメ、シシトウなどの夏野菜もたくさんの実を付けています。1年生のアサガオは大きな葉を付け、間もなく鮮やかな花が咲きそうです。

さて、先日は土曜参観にお越しいただきありがとうございました。感染症対策として、校舎内に入る方の人数を制限させていただいたためご不便をおかけしましたが、子どもたちや保護者の方々の安全を第一に考えてのことなので、どうかご容赦いただければと思います。子どもたちは、保護者の方々に気にして後ろを見たりする子もいましたが、多くの子は張り切って学習に取り組んでいたと思います。皆様の参観が子どもたちのやる気をさらに引き出していたのではないかと思います。参観いただきありがとうございました。

6月6日の朝会では、学援隊の方々を紹介させていただきました。日頃から黄緑色のベストやジャンパーを着て、子どもたちの登下校を見守ってくださっている皆様です。朝会当日は、雨だったためテレビ放送で皆様の顔やお名前、見守っていただいている場所などをお話させていただきました。子どもたちは、毎日お会いする方の名前もしっかり覚えられたのではないかと思います。引き続き学援隊や旗振りボランティアの保護者の方々には、子どもたちの見守りをお願いすることになりますが、どうぞよろしく願いいたします。昨年度は横浜市内でも小学生の痛ましい交通事故がありました。保護者の皆様には今一度、お子さまと一緒に登下校の仕方や交通ルールの確認をしていただき、自分の身は自分で守れるようお話していただければと思います。

6月16日に本郷小学校で行われた「栄区よこはま国際平和スピーチコンテスト」に、桂台小学校として6年生の代表が参加し、「きれいな海と元気な生き物を守るには」という演題でスピーチを行いました。SDGsの「海の豊かさを守ろう」という目標を意識して、現状のプラスチックゴミの多さやその影響、海水の調査や浜辺のごみ拾いなどの自分の経験、そして将来の夢を語り、自分の想いを存分に伝えていました。また、13校の代表児童もSDGsの17の目標に関連した自分のスピーチを堂々とした態度で伝えていました。自分の想いを言葉にして伝える大切さと言葉の力を感じる一日となりました。

今年も、桂台小学校では、かつらっこ活動が始まりました。他学年の友達との交流を通して、思いやりの気持ちや仲間意識を育てることをねらいとした縦割り活動です。1年生から6年生の子どもたちでグループを作り、年間を通して全校遠足をはじめ様々な活動を行います。また、グループの中の班活動では、1年と6年、2年と5年、3年と4年とでペアを組み、相手のことを考えながら上級生が下級生にやさしく関わっています。6月17日の2校時に、今年度第1回目の活動が行われました。この日に向けて、6年生が各グループのリーダーとして活動の内容や進め方を決めて準備をしてきました。当日はどの教室でも、6年生が張り切って、自己紹介や仲間づくりのゲームなど、会の進行を行っていました。一人ひとりに最上級生としての自覚や責任が感じられ、大変頼もしく思いました。かつらっこ活動を通して、いろいろな友達がいることを知り、違いや良さを認め合う心を育てていきたいと思えます。

6月下旬や7月上旬には、4・5年生の体験学習があります。泊りがけで友達や先生とつくる時間はこの時だけです。しっかりとめあてをもって取り組み、友達と心をつなげ、素敵な思い出をたくさん作ってほしいと思います。保護者の皆様には準備などをお願いすることと思いますが、よろしく願いいたします。